



広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信

● 第26号 2012年 5月発行 ●

◆特定非営利活動法人◆
どりーまあサービス

〒770-0866
徳島市末広2丁目1番80号
TEL 088-626-3237 FAX 088-611-7035
U R L : <http://dreamer-service.org>
E-mail : npo@dreamer-service.org
発行責任者 山口 浩志

イノベーション経営

さわやかな薫風が吹きわたってすがすがしい感じの今日この頃です。

いよいよ医療・介護同時改定がスタートしましたが、最近のWHOが出した報告により、65歳以上人口は、今後5年以内に5歳未満人口を上回って、2

理事長

山口 浩志



050年には、14歳以下人口より多くなるとのことです。またその時点で、80歳以上人口が現在の4倍に達すると発表されました。

今年の世界保健デーには、「健康であってこそその人生」をテーマとして掲げ、「健康な加齢」への投資を各国に呼びかけています。

これらのことから、同時改定を活かし、国民としての幸せ

支え合える

地域社会づくりへ

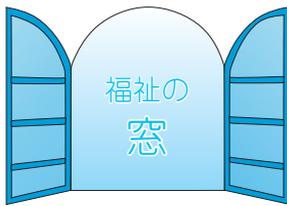


徳島文理大学保健福祉部
准教授 古川 明美

新年度は、人との出会いが多い時期です。入園・入学・入社等とてもワクワクする季節です。どのような人に出会えるかと思うと大きな楽しみとともに不安もあります。

支え愛コーディネートを終了し、今、どのようにお過ごしですか。研修は、人との出会いであり、同じ志を持つ人や講師の先生方との出会いの場です。終了後、いかに進めようかと考えている人、一歩前進している人もいます。人と人をつなぐこと

～春の訪れ～



福祉の窓

は、容易なことではありません。また、人は常に思い悩むことが多いのではないのでしょうか。そして、日常生活の中で色々と悩むことがあっても気軽に相談できる人は、専門家となった近所の顔なじみのあなたではないでしょうか。近所の人たちが憩う場として『サロン』があり、楽しい一時を過ごす場所が沢山できればと願っています。このような『サロン』をそれぞれの地域で造るには、自分のできることから始め、それが人の役に立ち自分の生きがいになると信じていきます。人はひとりでは生きて行くことはできません。

この春の訪れを新しい支え愛のスタートに一歩前進されることを期待しています。

春は、草木が芽吹き、花が咲き心は弾んでいきます。人の輪を広げていきましょう。

福祉車両補助決定!!



財団法人 JKA

この度財団法人 JKA 様からのリフト付き福祉車両の補助が決定し現在手続き中です。
地域の皆様等にぜひご活用させていただきます。

競輪は、人に優しい社会を作る公益事業を応援しています。



の道すじを考えなければなりません。政治は相変わらず空転で混迷するばかりです。

近代経済学者のシュンペーター氏の理論は、「経済発展の原動力はイノベーション」でした。イノベーションとは、「技術革新」の他に、「新しい切り口を発見する。新モデルを打ち出す。」という意味も含まれています。過去の成功体験から脱し、今こそ、けもの道をかき分けてでも、最適かつ最善の方法を自らつかまなければなりません。

「地域包括ケア」という大きな命題に立ち向かう今、イノベーションの精神で、これからも地域福祉実践に取り組んでまいりますので、皆様のご指導とご協力をよろしく申し上げます。



仲良しのお友達同士みたい！

ふれあい

活動

協力会員

武田 純子さん

有償のサービスチケットを使ったふれあい活動の中でも、在宅だけでなく、病院や施設での活動現場もあります。

その中でも、身体障害者療護園の方からの要請が最近多くいただいております。こういった施設で生活されていらっしゃる方は、スタッフの方には頼みにくかったり、また頼めないような

用事が結構あるようです。たとえば、車いすですらうとか、コンサートに連れて行ってもらう、等々。

今回ご紹介させていただく、住友喜久枝様は、ふれあい活動を活用して、毎週車椅子で近くのスーパーへお買い物にかけています。毎回担当

していた
だいてい
る、武田
純子さん

家族のおつきあいがごちいひですネ!!
(武田さん)

ふれあいルポ

新しい出会いに感謝!!

近藤 滋子さん

ボランテイアを利用して、6年になります。今年1月に足を痛め、2ヶ月ほど入院しましたが熱心なリハビリをこ

なされ回復してきました。その間も担当者のNさんとの交流あり、息もピッタリ。

玄関掃除の折、一匹のあまがエルを見つけお二人ご相談のうえ、お庭に放されました。今はそのあまがえ

鳴くのを楽しみに待ちわびています。

何事にもプラス思考の近藤さんにパワーをもらっています。

とのことでした。



「毎週のお出がけが生活になじんできました。」 利用会員 住友喜久枝さん



玄関先で記念撮影

は、現役時代は、理学療法士として、こういった類の障がい者施設でリハビリ治療にあたっておりました。退職後は、施設で得られた知識や技術を活かし、生活支援活動をしたとの願いがあり、登録していただいております。実際に活動をしていると、楽しいことばかりだそうで、特にリハビリの立場ではわからなかったことが生活支援する立場になって初めてわかることがたくさんある、とご意見をいただいております。

先輩ヘルパーからエール

日々明るく現場で活躍されている後輩ヘルパーさんを見て、遅く思っています。ご利用者様に「爽やかな風が届きますように」と努力されている姿勢に頭が下がります。

サービス提供責任者
楠本 雅子
(介護福祉士)

フリーフレール！
フレッシュヘルパーさん

フレッシュヘルパーさんへ

目標から決意へ

「目配り・気配り・心配り」+「常に笑顔をやさずテキパキと」を忘れず「何事も日々勉強」という熱意と真心をもって、お互い業務に励みましよう。



ヘルパーステーションたすけあい

ヘルパー

浪越 智代 (介護職員基礎研修)

「毎日新しい自分を発見してます！」

昨年の10月に介護職員基礎研修課程を終了し実習の時からお世話になりました。右も左もわからない自分でしたが、スタッフの方々の温かく丁寧で心ある教えに導かれて自分はいき続きどりーまあサービスに入社しました。



現場での汗と笑顔

頭ではわかっているつもりでいた利用者さんとのコミュニケーションでは、初めはたじたとしてしまい反対に利用者さんの方々から声をかけていただきほつ

利用者

瀬川 みかさん



今日もよろしくネ♡

した生活になりました。精神的にも支えられています、と喜びのお声です。みかちゃんのお母さんの夢はみかちゃんを連れて温泉旅行に行くことだそうです。がんばって夢が実現できるようヘルパー一同、応援していますヨ！

と胸をなでおろす私です。日々挨拶から元気よくと心がけて訪問するうちに利用者さんとの会話が自然に出来るようになりました。

ヘルパー

土井 育代 (介護福祉士)

「笑顔での声かけ」がモットーです。

見た目は穏やかでんびりしていそうで、なかなかしっかり者の土井ヘルパーさんです。どんな時も笑顔が絶えない表情からは、しっかりと将来を見ずえて業務にあたっている様子が伝わります。

みなさんとの絆をこれからも大切にしていきたいです。

(母より)

児童デイ開設 (予定)



今秋徳島市北沖洲へ児童デイを開設いたします。長年待っていてくれていた小児看護でかかわらせていただいている子供さんたちをようやく迎えられることができます。

みんな遊びにきて下さいね!!

スタッフ募集中

- ・看護師
- ・保育士

か ん ご

◇◇ どりーまあ訪問看護ステーション ◇◇



「いつも“笑顔”を
忘れない看護」が目標です
看護師 堀 真由美

私が訪問看護として働き始めて約1年が経とうとしております。以前から何らかの疾患をもっている方も病院ではなく、住み慣れた自宅で家族と過ごしたいと思う人たちを支える訪問看護に関心があり就職されました。予防的ケアから健康維持をめざすケア、そしてターミナル・終末期のケア等、様々な健康レベルを対象とした訪問看護。その中でも、価値観や家族構成、住宅環境、経済状況などによって、看護のあり方は変わり、基礎的看護技術を応用し、その方にあつた方法を創造し、考える事が訪問看護の醍醐味だなど知りました。また他機関とチームになって連携していくことの大切さを日々感

じています。この日担当した篠原裕人くんですが、生後6ヶ月で公的医療機関を退院し、その後何度か入院を繰り返されてはいますが、今は自宅で人工呼吸器をつけてがんばって生活しています。お母さんの今の夢は、裕人くんが大阪USJに遊びに行くことだそうです。裕人くんにとって、訪問看護師としてこれからのような役割が果たせられるか、問いかけの毎日ですが、まず感謝の気持ちで忘れずに日々学んでいきたいと堀Nsは心に強く誓っているようです。

看護師さんの存在は私たちの大きな支えです。〜裕人君母より〜



一命と向き合う瞬間



みんなでハイチーズ📷

「そんな一日があるから頑張れる♪」
「来年も皆様に喜んでもらえるようなクリスマス会ができるよう、スタッフ一同これからも頑張ります。」

「そんな一日があるから頑張れる♪」
「来年も皆様に喜んでもらえるようなクリスマス会ができるよう、スタッフ一同これからも頑張ります。」

★ ★ 於：アスティとくしま ★ ★

★ 第3回 ★

★ 輝き ★

★ どもクリスマス会 ★

★ 23.12.18 ★



わたしも参加したヨ!!

同、その期待に込めるだけでなく、日々の訪問で聞くことができない話をこどもさんやご家族の方たちと接

今年度目の「どりーまあどもクリスマス会」です。昨年末は、どりーまあでのホールでの企画でしたが、今年には参加して下さるご家族様も増え(14家族40名参加)、アスティとくしまで開催いたしました。毎年クリスマス会の時期がくると、「今年のクリスマス会はいつですか?」と何人もから尋ねられるくらい、とても楽しみにされています。私たちスタッフ一



コーラスグループのボランティアさんたち



◇ ○ デイサービスセンター夢ハウス ◇

デイサービスセンターの1日

櫻木 庸平



○ご近所の音楽サークル訪問○

デイサービスセンター夢ハウスは、定員15名の小規模型のデイサービスです。午前中は、入浴と機能訓練を順番にして頂き午後からは、レクリエーションや、利用者様個々に好きなことをして過ごさ



○理学療法士によるリハビリ○

れています。少人数ですが、和気あいあいとした、アットホームな雰囲気づくりをモットーにしています。最近では、手作りのパンを一緒に食べたりと、楽しみも増えてきました。これからも、利用者様の声を少しでも形にできる「夢」のある夢ハウスにしていきたいと思っています。



デイサービスセンター
夢ハウス
介護職員 西岡奈津代

今迄、全く縁のなかった介護の職に携わるようになり、まもなく半年。何の知識も経験もないまま飛び込んだ世界はとて新鮮で色々な気が付きが沢山ある所でした。毎日を夢中で過ごしていく中で時折、息切れしそうな感覚になる時があります。そんな時、



みんなで“おやつレク”を楽しむ

人生の先輩たちから日々学んでいます！

そんな時、

責任 使命



介護リーダー（管理者）として
櫻木 庸平（社会福祉士・PSW）

私が介護リーダーという役割について、はや5ヶ月が過ぎようとしています。一緒に働くスタッフにとっても恵まれていると感じながら、日々仕事をしています。私は利用者様が何でも気がねなく言える様な、居心地の良い空間・環境を創ることが自分と与えられた使命だと感じています。そのた

「準備と後片付け」を大切に！

めに、「準備と後片付け」を大切にしています。利用者様だけでなく、スタッフにとってもお互いに成長し合えるような、前向きなチームにしたいと考えながら、スタッフとも関わっています。そして、チームとして得たものを、何かの形として、利用者様に返せていたかと考えています。しかし、私はまだまだ未熟で利用者様やスタッフに支えられてばかりです。これからも日々精進し、スタッフと共に前に進んでいきたいと考えています。

楽しい一日を過ごしていただけることが願いです。

ご利用者が掛けてくださる「ありがとう。」や「ご苦労さん。」の労いの言葉。そっと背中手に手を添えられた様で立ち止まる時間を与えて貰えます。それと同時に心がほんわか温まる瞬間でもあります。そんなご利用者様の笑顔に支えられて、これからも少しずつ知識と経験を重ねていきたいと思っています。

ケア マネージャー



どりーまあ徳島

山瀬 照美

居宅支援専門員（ケアマネージャー）を担当させて頂いています。山瀬です。どりーまあサービスに入社して早1年

トーに呼びかけをしているようです。社会全般に亘って言える事かも知れませんが、私も利用者様1人1人の触れ合いを大切にそして心の灯が絶える事なく大きく照らしていきますように、ケアマネージャーの仕事を通じて微力ながら補助者としての役割を果たしていければと思っています。

を迎えようとしています。ようやく仕事にも慣れてきたつもりですが、利用者様とのコミュニケーション等々、スムーズとは言い難い点があるのではないかと思っています。これからも、尚一層ケアマネージャーとしての仕事をスキルアップして、利用者様に更に信頼を頂けるよう努力していきたいと思っています。

先日、ある雑誌で目に留まった記事の中に全米アルツハイマー協会は「Someone to Stand By You」と謳って「あなた一人ではない」をモッ

「一生懸命してくれるから安心してまかせてます。」
(利用者 平井さんより)



笑顔のモニタリング

利用者さんとの会話は私たちの大切な時間です。

ケアマネからの耳より情報コーナー

■介護報酬改正のポイント■

4月に介護報酬の改定がありました。

基本的な考え方は

- 高齢者の自立支援に重点を置いた在宅・居宅系サービス
- 要介護度の高い高齢者、医療ニーズの高い高齢者に対応した在宅サービス
- 訪問看護、リハビリテーションの充実と看取りへの対応強化
- 介護保険施設における医療ニーズの対応
- 入退院時における医療機関と介護サービス事業者との連携促進
- 認知症の人が可能な限り住み慣れた地域で生活を続けられるよう見直し

ご利用者様、一番の気かけは訪問介護はどう変わるか？ではないでしょうか。

● 身体介護に20分未満の時間区分新設
訪問介護が頻繁に必要なとされる中重度の利用者を支えるため20分未満 170単位（夜間・深夜・早朝に限る）が新設されました!!
身体介護は時間区分が短く、料金が下がることで体位交換

● 1日何回もサービスを受けていた方は利用がしやすくなります。生活援助の時間区分の見直し限られた人材を効率的に活用するために

20分以上45分未満 190単位
45分以上 235単位
今まで実質90分の生活援助を利用していた方は提供時間が大幅に短縮になります。
しかし買物などは自宅訪問前に行くことが可能になります!!

● 不明な点は担当ケアマネまでお問い合わせ下さいませ。

どりーまあ徳島 山野亜紀子

体操教室

徳島市元気高齢者づくり事業

南井上教室 (南井上コミュニティセンター)

周囲が農村地域というだけに、コミュニティは抜群の力を誇る南井上教室です。教室の登録者数も40名を超えるほどの人気で勢いがあります。この日も参加されていた北清子様ですが、感想をうかがうと、「以前に膝の痛みがあったのが、ここに参加してからしばらくしてなくなり、体全体が軽くなりました。友達もで



みんなで頑張ってます (^ー^)



きたりしたので、週2回は必ず参加しています。」とのこと。皆様のパワーで徳島を元気にもりあげていただきたいものです。



内町教室 (内町公民館)

元祖体操教室の内町教室です。会場はアミコ5階の内町公民館ですが、最近6階に市立図書館が移転してきて、文化にも恵まれた環境です。たたみの上での体操で、参加者との距離も親近感あふれる中で、毎回元気な声がかつています。参加者の中で、数少ない男性参加者である宮崎利男様ですが、85歳を過ぎて、健康管理を生きがいにしておられるとのこと。こちらの体操



若い人に負けずにエイエイオー (^o^)/



を始めてから、腰痛がなくなり、毎回楽しみに参加しておられる様子です。どんな用事があつても今は教室のある日は優先して参加されているとのこと。これからも長く続けてご参加ください。

地域包括ケアでまちを創る!



内覧会に多くの来訪者

昨年12/3〜12/4、小雨が降り続き足元の悪い中にもかかわらず、医療・福祉関係者並びにご近所の方など、2日間で約400人が、「どりーまあ」北沖洲へ足を運んでいただきました。内覧会では、法人職員が手分けで受付や案内係、

内覧会

また送迎バスの運行など、それぞれの役割で連携し、来訪者の方々に対応いたしました。

地域包括ケアシステム

住み慣れた「地域」で、要介護者の生活をできる限り継続して支えるために、

小規模多機能ケア

登録定員25人、通い15人、泊まり5人、訪問25人の規模です。緑豊かな環境の中、ゆったりと1日をお過ごしただけのようなケアを目指しています。

豆辞典

小規模多機能居宅介護施設とは？

- 平成18年度からスタートした地域密着型サービスのひとつで、高齢者が要介護状態になっても、できる限り住み慣れた地域（日常生活圏域）で生活が継続できるよう24時間体制で支えるためのサービス拠点としてきた。
- 「通い」を中心に、自宅への「訪問」や短期間の「宿泊」を組み合わせ、入浴、排泄、食事等の介護、機能訓練を行う。
- 利用者は登録制で、登録定員は25人以下、「通い」は1日あたり15名以下、「宿泊」利用者は9名以下になっている。

小規模
多機能ケア

夢ガーデン



四国初の導入 特殊浴槽「個粹」



あたたかい雰囲気のエントランス



小規模多機能のフロア



今の不安を未来の希望へ



サービス付き高齢者向け住宅

《レスポワール》

高齢化が急速に進む中、医療・介護と連携して、高齢者を支援するサービスを提供する住宅を確保することが重要であるが、サービス付きの住宅の供給は、欧

米各国に比べて立ち後れている現状があった。国土交通省は、2020年までにサービス付き住宅の割合を3〜5%に高めるため、2011年4月「高齢者住まい法」を改正し、「サービス付き高齢者向け住宅」を創設した。

基準

高齢者生活支援サービスの提供。(安否確認、生活相談必須)

生活支援員1名常駐。(ヘルパー、介護福祉士等の有資格者)

書面による契約、居住部分の明示、権利金等の金銭授受の禁止。



安全な空間を確保

設備

25㎡以上(但し、食堂・キッチン・浴室・収納設備が共有するスペースがあれば18㎡可)、トイレ、洗面設備の設置。

バリアフリー化。



昭和ロマンを感じる2階フロア

終身にわたりお世話いたします

コンセプト

重症になっても、病院へ転院したり居場所を変えようような負担はなく、終身にわたりお世話させていただきます。

また住宅内の居住空間は純和風式に「昭和ロマン」を表現し、設備・設計に関しては最新式モデルで仕上げております。



ゆったりと過ごせる居室空間

医療

地域の医療機関との連携と、訪問看護・介護等の利用により、在宅と同様の治療が受けられます。緊急時の通院等については、生活支援員他、オプションサービスにより、送迎サービス体制を確保しています。



住宅内の浴室(2ヶ所設置)



着想

徳島県地域支え合い体制づくり事業 支え愛コーディネーター育成プロジェクト



プログラム

日程	内容	講師
23年10/5	「地域福祉概論」	徳島県社会福祉協議会 佐伯 明彦 氏
11/7	「地域課題の捉え方①・②」	徳島大学総合科学部 矢部 拓也 氏 徳島地域活性化委員会 内藤佐和子 氏
12/9	「徳島県民の健康づくり～健康とくしま21～」	徳島県立総合看護学校 佐藤ふさよ 氏
	「コミュニティケア論」	徳島大学医学部保健学科 松下 恭子 氏
24年1/16	「基本的援助技法」	四国大学短期大学部 日開野 博 氏
2/25	「人と人の支え合い～ええ習慣してますか～」	徳島文理大学保健福祉学部 古川 明美 氏
3/2	「生活者の視点と住民ニーズの捉え方 美馬市の実践報告」 「ボランティアコーディネーターの役割」	美馬市社会福祉協議会 佐和 良佳 氏

学ぶ

もたれてい
の危機感を
の何らか
現

10/5～翌3/2まで月1回のペースで地域福祉に関しての講座が始まった。受講生のほとんどは、医療・福祉の専門資格をもっている方々であり、地域におけるあり方について熱心に受講されていた。どの受講生の方たちも、現状に何らかの危機感を

着眼

域貢献できるための養成をする。

地域で生活する保健師、社会福祉士等が個人レベルで自主的な活動をを行い、住民の生活課題を手助けするために、行政、社会福祉協議会、地域包括支援センターなど公的機関との橋わたし役になり、支え合いネットワークの核として地域貢献できるための養成をする。

目的

地域で生活する保健師、社会福祉士等が個人レベルで自主的な活動をを行い、住民の生活課題を手助けするために、行政、社会福祉協議会、地域包括支援センターなど公的機関との橋わたし役になり、支え合いネットワークの核として地域貢献できるための養成をする。

期待

- ① 地域にどんな社会資源があるかを理解する。
- ② 地域交流の様子を体験し、支え合いネットワークがどんな役割を果たすかを学ぶ。
- ③ 支え愛活動計画をグループで作成し、その過程での具体的な思考を経験する。

「支え合い」のしくみを知る！

自分たちが
できる事!!



講義風景（皆さん真剣です）

ることで共通しており、講師の先生方とも毎回熱心に議論が交わされていた。

活動計画立案を一つの具体策に絞り込み、さらに具体案が出てきて、現実味をおびました。

立ち止まっていないで、進めることの大切さがわかりました。

講義後のレポートより抜粋



先駆的事例に興味津々



サロン実習の打ち合わせに緊張感漂う

磨く

本養成研修のプログラムの中で、座学と実践研修を組み込んだ。実践研修場所としては、どりーまあサービスで平成21年度から県補助事業として取り組んでいる「小地域交流サロン」の場への実習であった。

サロン実習で実践の

大切さを学ぶ!!

徳島市1ヶ所、小松島市3ヶ所、鳴門市1ヶ所、阿波市2ヶ所の計7ヶ所に、それぞれ分かれて現場へ出向き、いろいろな地域住民の人たちやまた地域のリーダーの方々から、現在の取り組み方について学ばせていただいた。

声

「和気あいあいと過ごされている皆さんをみて、サロンは楽しい場であることが大切だと実感した。生活するうえで困っていることをプラス思考にしていく原動力がサロンにある。」

体験実習者レポートより

サロン実習



みんなで手芸を楽しむ



書道をたしなむ



かるたで交流

次の一手

支え愛サミット in とくしま

着手

研修の仕上げとして、当初より企画していた「サミット」を開催した。

基調講演として、事業開始前に検討委員さんたちと県外視察し知り合った、鳥取県地域支え愛推進室長である金涌文雄氏にご来県いただき、受講生の皆さんや参加された地域の方々へ多くのエールのお言葉をいただいた。



地域を語り合う

「サミット」では、本研修受講生の方やサロン実践者、また地域コーディネーター活動に興味のある方等、約150名が集った。

みんなちがって
みんないい



コーディネーターの先生も真剣です



会場は熱気ムンムン!

サロン実践報告としては、阿波市立ち上げに成功された阿波市地域包括支援センターの矢部美穂子保健師さんがまとめていただいた。

最後は、徳島文理大学から講師協力していただいた古川明美先生が、グループワーク形式で、各地域毎にこれからの地元でのあり方を話し合えるよう進めていただき、最後まで熱気に包まれ、「サミット」は成功裏に終わった。

事業検討委員会



(皆さんで意見交換)



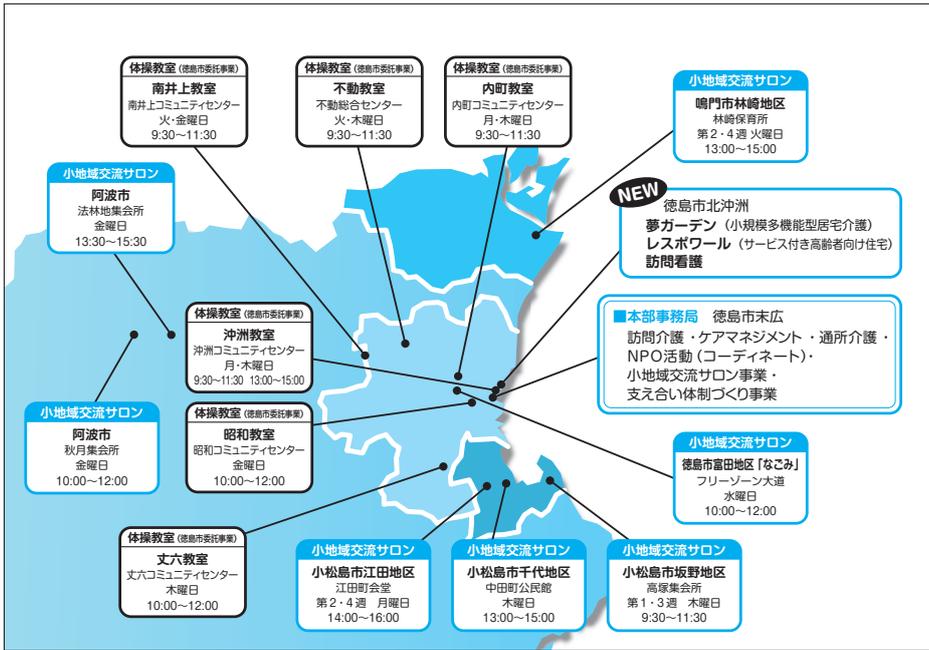
(次々と課題に取り組む)

検

証

あいさつの声かけから
支え合いのはじまり

小地域交流サロン



平成21年〜23年の3年間、ふるさと雇用創出事業で県長寿介護課さんからの委託で、「小地域交流サロン事業」に取り組んだ。
本事業は県内各地で3年間にわたり7ヶ所のサロンを立ち上げ、これからの地域での新しいしくみづくりを検証することであった。最終年度ご協力いただいた阿波市さんの活動を取り上げてみた。

3年間で7ヶ所立ち上げ

ここでの小地域とは、自治会単位を表しており、具体的には自治会単位を考えていた。半径500m圏内くらいを予想範囲



秋月サロンの皆さん

として考え、ご近所の人たちで、定期的に集まる場を持つこと。そして、制度の垣根を越えた居場所づくりがあれば、ご近所内で解決

【秋月サロン】

- 何をやってもここに来ているお友達とお話するだけで楽しい。
- (みんなで歌謡曲を歌いながら) こうやってみんなでたまには歌うのもええなあ。
- いつからかここにくるようになる

【法林地サロン】

- (折り紙でおひなさまを折って)

声

家に帰ってさっそく飾りたい。体に負担がなく、いろんなことを教えてくれるので、時間の過ぎるのが早い。(食事会を終えて) みんなで食べたらおいしい。

なごみ集会所

地域の底力にエール



法林地サロンの様子

できることがあったり、また高齢者の閉じこもりや虐待の早期発見と情報共有、そしてまた認知症高齢者への配慮等々。いわゆる地域の完結型サービスのサロン活用である。
最終年度は阿波市福祉課さんや同市地域包括支援センターさんからの協力や、地元の人たちの熱意で、2ヶ所のサロンが立ち上がりました。これからの活躍にご期待申し上げます。

ターミナルケア ～在宅での看取りと緩和ケア～

助言者：徳島県立中央病院 臨床腫瘍科 部長 寺嶋吉保 先生

まず、支援開始から当時の入院までの経緯について訪問看護師から報告があり、今後のターミナル・緩和ケアに向けて各部門職員からの意見や質疑等が発言されました。本人の希望に対してどのように支援していくのか、それぞれの視点からの意見が上がり、その意見を必死で書きとめ、イメージしていく、担当者会議さながらの研修会でした。

そして、寺嶋先生よりは、「今後どんどん悪くなって行く」「突然死になる」との担当医師からの言葉について、分かりやすく説明下さり、更に、これまで関わってこられた例から、ターミナルケアのあり方や注意点、そしてグリーフケアのお話まで頂きました。我々専門職は、利用者・

内 部 研 修

この研修会は、今まさに在宅で居宅介護支援の取り組みを行っている末期がんの利用者様の事例を取り上げる重みに加え、そのアドバイザー・講師として、緩和ケアの分野で長年研究会活動などで熱心に取り組まれている寺嶋先生より助言頂くという内容で、これまでの研修とは違った緊張感がある研修会となりました。

23. 8. 27



於：県民活動プラザ

家族の近くに居る立場として、家族が何を理解しているのか、情報の補足や説明、ポイントを支援する役割。そしてご本人の状態や疾患に応じた在宅と入院や看取りをした後の家族支援まで見越した支援計画が必要であると感じ、その為には医療分野についてもより一層学びを深めていく必要があると身にしみて感じた研修会となりました。

（ケアマネージャー 福本 誠司）

24. 2. 15



於：夢ガーデンホール

介護職員向けのリハビリ実践 ～小規模多機能での生活リハとは～

講師：山田偉伏希 先生

2月15日(水)職員研修を受講して、今回のテーマ「介護職員向けのリハビリ実践」どりーまあ訪問看護ステーション理学療法士、山田先生によりお話を伺いました。

人は誰でも年を重ねてくると筋力は衰えてくるものですが日々の訓練により徐々に筋力も回復してくるようです。決して無理のないよう初回は1回からでもいいので続ける事が望ましいのだそうで、下肢筋力強化やストレッチについて大切な機能をひとつずつご説明頂き、職員にも参考になりました。今後

ました。今後の筋力トレーニングに必要不可欠と思いつく伸張(ストレッチ)その逆短

生活リハビリを

ケアとして取り組む



縮(筋力強化)を実践していこうと思っております。大腿四頭筋とか、特に重要な7つの筋群についてはご説明を元に実際手足を動かして解説してもらえたので大変良くわかりました。これからも、小規模多機能ケア夢ガーデンで楽しく実践できるリハビリテーションを実践していきたいと思っています。

（小規模多機能ケア夢ガーデン 介護職員 島村あき）

平成23年度 全国ホームヘルパー協議会 研究セミナーに参加して

(24. 1. 24~1. 25 於：東京 TFT 東館)

展 望

ヘルパーステーションたすけあい

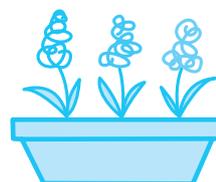
管理者 山口 浩子

例年にならない大雪で都心が混乱した翌日の1月24日から2日間、東京TFT東館で、全国ホームヘルパー協議会による研修セミナーが開催され、街角のあちこちに雪が残る、外の寒さとは対照的に各地から集った200名の参加者がありました。今回の研修テーマは『介護保険の制度改正を受けてホームヘルプ事業をどう進めていくか』。4月からの改正を目前にし、報酬の改訂、生活援助の短時間化、痰吸引学医療行為の認定、地域包括ケアの推進と課題が多くある中、自らの立ち位置と今後の指針を見出したいという思いが強く感じられました。厚生労働省老健局の行政説明には質疑応答も多く、続いてのシンポジウム、2日目の分科会では医療行為の進め方と地域包括ケアの可能性についての二大テーマ別に、事例報告を交えての熱心な討議が行われました。研修を終えて、どの事業所も抱えている問題に多少の差はあるけれど、全国で独自のあり方を模索しながら事業を進めていること。ホームヘルパーは、利用者様の生活の全般を専門職として総合的な見解で把握し、支えていく立場であるという意識をしっかりと持つこと。心に残った言葉は、24時間介護をする家族に出来ないことをヘルパーに補ってもらいたい。やさしい笑顔と温かい手”を利用者と家族は待っている”という家族の意見も変わらないものを胸に前に歩んでいきたいと思えます。

外 部 研 修

「神経難病訪問看護研修」に参加して

(24. 1. 14 於：大阪介護支援専門員協会研修センター)



小規模多機能ケア夢ガーデン

看護師 濱田 礼子

平成24年1月14日大阪介護支援専門員協会研修センターに於いて病態生理から実践を学ぶと題してあり出席させていただきました。済生会神奈川病院診療部長、國本雅也先生による疾患の理解、ALS（筋萎縮性側索硬化症）パーキンソン病と類縁疾患を中心とした病態生理や特徴、在宅ケアについてお話がありました。対応療法緩和ケア、精神的サポート、急変時の対応、在宅医療を支える医療器具を知る。在宅医療の問題点を知る。難病を取り巻く制度を知り、支援制度を使用し生活の支援に利用する等でした。訪問看護のあり方として、刀根山訪問看護ステーション管理者、長濱あかし氏による、疾患受容に至る心理過程、心のケア生きがいに援助の手をさしのべる等の話がありました。現在小規模多機能施設でお世話させていただいていますが、ALS、パーキンソン病他疾患を持たれている方もおられ在宅、施設に於ける医療者の役割として毎日がより安全に安心して少しでも楽に少しでもたのしく生活していただける様に連携をとりながら支援させていただく事が出来ればと思っております。





事務局だより



法人統括事務局長

木下 義治

現在の日本の状態を表現する言葉は「少子・高齢化社会」「財政破綻」「大震災」「社会保障制度の崩壊」などでしょうか。いずれの言葉も暗く、さらに政治が停滞し、先が見えないいらだち、投げやりな気持ちまん延しています。しかし今の私達の暮らしが世界のトップ

レベルにあることも事実です。昔からその時々日本を訪れた異国の人は日本人の暮らしを称賛し自国に書き送っています。歴史的に我が国は人々の英知と努力で国民的危機を乗り越ってきました。現代の私達にもそのDNAは受け継がれています。暗い近未来予測に惑わされるのは止めにして、「何とかなるサ、まだまだいける」とコツコツ楽しく努力し続けることが基本だと考えています。

NPOマネージメントリーダー

田邊 景子

どりーまあサービスにお世話になって4ヶ月が過ぎました。20年間の事務経験があるものの、新しい環境での仕事は初めての事ばかりで、面白いと思う反面、戸惑うこともたくさんあって、今は毎日が勉強です。

私は健康がとりえといってもいいくらいでしたが、子どもの成長と共に老いを感じる年代にもなり、これからの人生をどう過ごしていこうかと考えるにあたり、人生の先輩でもある多くの利用者の方々に接することができた

り、ケアマネさん、ヘルパーさん、看護師さんからもいろいろな話を聞かせてもらったりと、自然と学ばせてもらえて毎日が新鮮で感謝しています。

また、こうして元気に働けることにも感謝し、私にできることは何なのか、何をすべきなのかを常に考えて行動しようと思っています。この歳になってもまだまだ未熟で今は自分のことで精一杯です。どうかもう少し温かく見守ってください。

どりーまあサービスが成長し続けるように、私もまだ成長できることを信じて努力していこうと思います。どうか今後ともよろしく願います。

「人材育成プロジェクトに携わって」

人材養成プロジェクトリーダー

白杵 顕子

どりーまあサービスの一員となり、早半年が過ぎました。スタッフの皆さんの前向きな姿勢とスピード感ある仕事に学ぶことの多い日々です。

私たちは、利用者満足と安心安全の確保という同じ目標を持った専門集団です。そのためにスタッフ全員が常に貪欲です。ご利用者様のケース

カンファレンス、スタッフ間のやりとり、各部門研修…。どの場面においてもベクトルは利用者様を向いています。私も一員として少しでも近づけるように、そして夢に向かっていきます。今後ともどうぞよろしく願います。

INFORMATION

24年3月より、徳島県介護支援専門員協会事務局がどりーまあサービスに移管されました。事務局員として松本三保子が務めることとなります。

明るくファイトある人柄です。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

徳島県介護支援専門員協会
事務局 移管

《平成24年度 どりーまあ職員研修日程表》

		看護	介護	居宅	通所介護	事務	小規模
		第3水曜日 18時～	第3金曜日 16時30分～	第3火曜日 10時30分～	第3水曜日 17時15分～	第3木曜日 16時～	第4水曜日 13時～
平成 24年	4月	制度論	介護保険制度	専門研修	介護保険について	事例発表	制度改正に ついての勉強会
		介護保険・ 医療保険	勉強会	制度改定について	(制度理解)	ミスの見直し・ 改善について	
	5月	制度論	ターミナルに ついて	事例検討	レクリエーション・ リハビリについて	事例発表	リハビリ
		社会福祉法・ 自立支援法	事例発表・ かかわり方の学習	(在宅ターミナルケア)			
	6月	認知症ケア ～疾患と症状の理解～					
	7月	ターミナルケア	記録の仕方 について	専門研修	送迎について	事例発表	記録の仕方 について
		事例発表	勉強会	小規模事業所 との連携	(マニュアル確認)		
	8月	呼吸器について	ヒヤリハット・ リスク管理	事例検討	事例発表	事例発表	嚥下・食事介助 方法について
		モード・しくみ	事故事例発表	(多職種連携に学ぶ)	(認知症ケアに学ぶ)		
	9月	感染予防 ～予防と対策の実践～					
	10月	呼吸リハビリ	介護 実技	事例検討	避難訓練・交通 安全について	事例発表	接遇について
				(医療ニーズと 福祉サービス)			
11月	ターミナルケア ～残された時間をいかに過ごすか～						
12月	小児看護	緊急時の対応	専門研修	事例発表	事例発表	ヒヤリハット・ 事故対応	
	呼吸器装着中の 小児(事例)	勉強会	癌・特定疾患 マネジメント	(他部門との連携)			
平成 25年	2月	ALSについて (事例)	リハビリ実技	事例発表	リハビリ	事例発表	薬の作用・ 副作用について
		呼吸器装着中の ALS患者		(困難事例)			
3月		パーキンソン病 について	困難事例発表	専門研修	レクリエーション について	事例発表	1年間の振り返り・ 反省
				担当者会議 ロールプレイ			

平成24年度 委員会構成

～全員参加型経営を目指して～

◎委員長 ○副委員長

	介護	看護	居宅	デイ	事務	小規模 サ高住
研修委員会	○楠本 森	◎堀	山瀬	櫻木	松本	吉野
広報委員会	四宮	○関本	◎福本	中野 ^朱 杉本	白杵	白川
感染予防委員会	平土	◎濱崎		○濱口	田邊	桑原
リスク管理委員会	◎松本	小出	山野	中村		○糸林 米田
環境改善委員会	◎正地	石原	大澤	○西岡	棚野	岡濱 田
内部監査委員会	○山口				◎木下	